

大槻野

岩子

水沢川

## 水沢川の芸術作品 ～河岸段丘～

水田は水を張らなければならぬので、地面を水平に整地します。そのとき、自然の地形を崩さないように作業をすると労力が少なくて済みます。水沢川下流の兩岸を空から見ると（写真）、上流から河口方向に流れている水沢川はゆるやかな曲線を描いています。

その曲線と良く似た曲線が畦畔のあちこちに見られます。これら曲線が織りなす模様が美しい芸術作品となつて眼下に広がっています。水田の高さに注目すると、大まかに3通りに分けることができます。

① 水沢川よりわずかに高い水田。

② 崖を隔てて1段高い岩子集落のある水田。

③ さらに次の崖を隔てた大槻野集落のある水田。

水田を作っている面は段丘面、崖は段丘崖といえます。前号で紹介した海岸段丘と同じ呼び方となっておりますね。段丘の出来方は前号で述べた通りですが、何が土地を削ったかによって違いが出てきます。海の波が削った場合は海岸段丘で、川で削った場合が河岸段丘となります。

ところで、海岸段丘ができるためには海面の高さが変化しなければなりません。では、河岸段丘の場合も海面の高さが変化しなければならぬのでしょうか。

## 旧沢目中学校生徒たちの研究

この疑問に挑戦したのは旧沢目中学校3年生たちでした。Sさんはレポートに次のように入りで説明しています。図1は水沢川の水はゆ

るやかに流れていて、川は蛇行<sup>だう</sup>しています。これは前号で書いた条件①の場合です。もし海面が下がる（条件②）と水沢川の流れは急になります。すると蛇行は中止し川底は深くなります（図2）。次にまた条件①となると、川は又蛇行をはじめます。

この繰り返し（図3、図4）で河岸段丘ができますので、明らかに海面の変化が河岸段丘の形成にかかわっている、とSさんは説明しています。

この研究は理科の時間に「郷土の成り立ちを調べよう」をテーマに約2ヶ月半をかけてクラス全員協力し合つて調査したものです。疑問点が出る調査を続けるという積み重ねの末仕上げたレポートでした。すばらしい推理力だと思いますか。

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

